

目指せ「春」県勢闊志

秋季東北高校野球 あす山形で開幕

中軸相坂らに期待 山田高

来春の選抜高校野球大会(センバツ)出場の夢となる第69回秋季東北地区高校野球大会が14日、山形県で開幕する。本県からは2年連続21回目の青森山田(第1代表)、9年連続20回目の八学光星(第2代表)、初代表の弘前東(第3代表)の3校が出場し、熱戦を繰り広げる。

伝統の長打力健在 光星



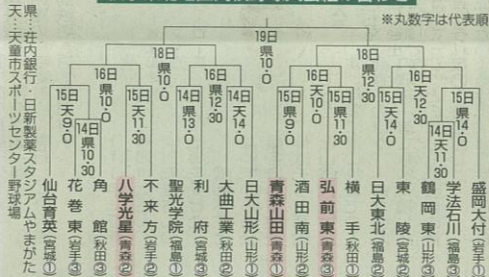
9年連続20回目出場の八学光星

つなぐ打線持ち味 弘前東

秋季県大会を制した青森山田は犠打と盗塁を絡めた攻撃が持ち味。3割3分1厘の打率は県勢3校で最も高く、走者をためて中軸の相坂、阿部らに回したい。投手陣は決勝途中から登板し4回無失点と好投した寺岡、主戦が軸となる。初戦の相手は酒田南(山形第2代表)は2年連続が必要。また豊富な投手

13回目出場。県大会4試合で41得点を挙げた打線は破壊力がある。準々決勝で本塁打を放った中西、佐藤敦には特に注意が必要。また豊富な投手陣も擁する。八学光星は県大会4試合で14失点と苦しいながらも、9年連続の代表をつかみ取った。チーム打率は3割を切ったもの。伝統の長打力は健在だ。初戦で本塁打を放った花房、馬場のほか、吉田、小池、足立、田中らに長打が期待できる。対戦するのは不来方(若手第2代表)同校は部員10人ながら、堅い守りとしてこの集中打で県大会を突破した。主将で主戦小比類巻の完投が予想されている。八学光星は中盤までには小比類巻を攻略できれば勝利が見える。弘前東は主戦の左腕馬部がチームの柱。準々決勝は9回2安打1失点と好投した。2番手須藤も安定感がある。打撃は目立った選手がいるわけではないが、打線は切れ球が武器だ。試合は投手戦になる可能性がある。

秋季東北地区高校野球大会組み合わせ



代表3校の今秋の県大会成績

校名	試合数	得点	失点	打数	安打	打率	犠打	盗塁	失策
青森山田	4	26	7	124	41	.331	13	7	2
八学光星	4	20	14	117	34	.291	10	6	3
弘前東	4	22	12	124	39	.315	10	4	2

代表3校の県大会投手成績

校名	投手	回数	打者	被安打	奪三振	与四死球	失点
青森山田	対馬	16	63	14	6	4	5
	寺岡	13	52	14	6	4	1
	斎藤勇	5	21	3	3	4	1
八学光星	成田	15	64	14	10	6	5
	向井	14½	67	20	13	6	7
弘前東	國武	6½	29	6	0	3	2
	鳥谷部	22	89	17	22	9	11
須藤	11	43	9	9	4	1	